

そなたか：
わが夫となる
男とは：

残念ながら
そなたと
むつみ合う
つもりなど
一切ない

そなたが
悪いわけではない
わらわは：男と
愛し合うことに
興味が持てぬのだ

だがその通り：
世継ぎを残す
掟がある：

どろん

フツ。

わらわの腹の奥に
子種を吐き出せ
…手早くな

衣を脱ぐがいい
肌に触れることを
許そう：

To Be Continued...



何を見ておる
さっさと始めぬか



姫さま...

案ずるな...
すぐに終わる

でも...

ふふ...
このような
ものはただの
獣の儀式だ...
こちらへ
来い...
愛い奴
だのう...



そなたどこを
舐めておる...
ふっ...やはり
何もわからぬ
下郎のような

そこは
尻の穴だ
馬鹿めが...

は...???
それがいい
...???

言っておくが
わらわは
さきほど
糞を垂れた
ばかりじゃぞ

愚か者

糞を舐めまわして
喜んでいいのかっ!???

この豚めがっつ

クチャ

クチャ
クチャ

この、豚…
うッ…くッ

ふうッ

くちよ

くちよ

くちよ

もうよい…
もうやめ…
…うッ…

ピクッ

姫さま!
お顔が…

だ…
大丈夫じゃ…

これぐらいで
わらわが…

あ

は
うッ

あッ

なんじゃ
これは!?

ピク

ぐ…
おお…

姫さま…

ピク

尻の穴が…
はあああッ

ど…どこまで
舌を入れるのじゃ
おズッおズッおズッ

ピクッ

クチッ
クチッ
クチッ

To Be Continued...

ブル ... ブル

ちゅちゅあ。

はあ... はあ...

気は 済んだか...

わらわをなぶり 侮辱しさぞ 気分がよかろうな

尻の穴なぞ 舐めおって...

覚悟して おけよ...

む待て...

休ませろ... 腰が立たぬ...

しばらく 休んでから...

!?

何をしておるツ!! ならぬツ前も後ろも 入って来るでないツ

あッ...



お待ちください
旦那様ッ

玲…

はしたない
行為は
私がお相手
いたします！

姫さまに
無理強いは
おやめください！

侍女 玲^{レイ}

姫さま…
ご安心を…

旦那様の
猛々しい
肉欲は…んッ
…この身をもって
鎮めます…あッ

あああッ♥

あッ♥

姫さまは
どうかお体を休め
…て…んあッ♥

あッ♥

むぐッ…

…んッ
…ぐッ

あ…
やめ…

ソ
ソ

スリー…

ブルルン

ブルルン

さわ…♥

あッ

!

あッ

はあッ♥

はあッ♥

はあッ♥

旦那様ッ
いやらしい
その男根…

ぐんぐんよ

ぐんぐんよ

ぶるん

ご満足

ただけです

…かッあッ

はああん♥

ああいけません
腰が抜け…

あああああ
あああああ

To Be Continued...//

びるん

ももう
よい…

もうよいッ!

あああああ

あ

…ぐッ

…

♡♡♡

♡♡♡



こんなモノを
嗅いで欲情するわけ
なからうっ!
この痴れ者がっ!

ふぐっんんっ
やめよっ!



なんと
男…この獣っ!
よさぬかっ!
汚れたモノを
近づけるなっ!



びりっ

びりっ

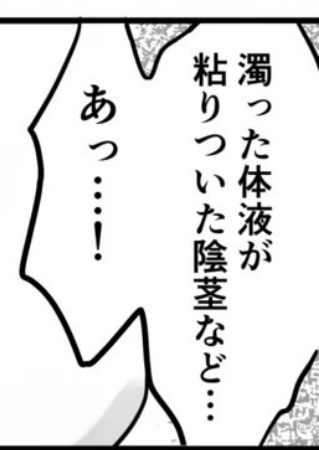
ま、まだ出るのか!



ぬっ
んっ!



ぐっ



濁った体液が
粘りついた陰茎など…

あっ…!



…

ん…



申し訳…



ひ、姫さま…っ



はっ…!
気を
失っていた…



目を疑った



あの
姫さまが…

男を心から憎み卑しむ
あの姫さまが…

くちゅ

くちゅ

んっ

んっ

巨大で淫猥な
旦那様の男根を…
喉の奥まで飲み込んでいた…



んぼっ

んぼっ...

ぐちゃ

ぐちゃ

んぼっ

んぼっ

ぐちゃ

笑っておる...
何がおかしい...ッ

笑っておる...
何がおかしい...ッ



おぼっ!!?

おぼっ

おぼっ

おぼっ

おぼっ

おぼっ

便壺のように...ッ

わらわを口を...ッ

おぼっ

ブルッ

ブルッ

|||

|||

To Be Continued...



グッ

ハッ!
ヒッ
ユ

ん...
...

ヒッ
ユ

ヒッ
ユ

ん...
...

ん...
...



んぐっ

ズグ

ズグ

ヌチャ
ヌチャ
ヌチャ

ズグ
ズグ

おぐっ

んぐ

いんいん

りん

りん

りん

耐え忍ぶ姫さまに
容赦なく口淫を繰り返し
白濁した精液を飲ませる

旦那様は
侍女である私との
まぐわいなどでは
けつして満足しない

ぐちよ
姫さま……

ぐちよ
なんと淫靡で……
美しい……

ぐちよ
あくまで姫さまの
初心で純情な肉体を
その淫欲の限り
貪るおつもりなのだ



熟して……
蒸れた……
かぐわしい
姫さまの肉を……

それから男根を
姫さまの顔に乗せ
においづけるように
精液を擦り付け

にちゅ
にちゅ



そしてずりりと引き抜く
それを繰り返した

ずろおお..

おえッ



再び姫さまの口の中で男根を遊ばせ

ぐちゅ
ぐちゅ

うッ

ぐッ



にち

最後に旦那様は
わずかの精液を
蝶に吸わせる
甘い蜜のように
姫さまの口に飛ばし
口淫を済ませた

ピュ♡

んっ

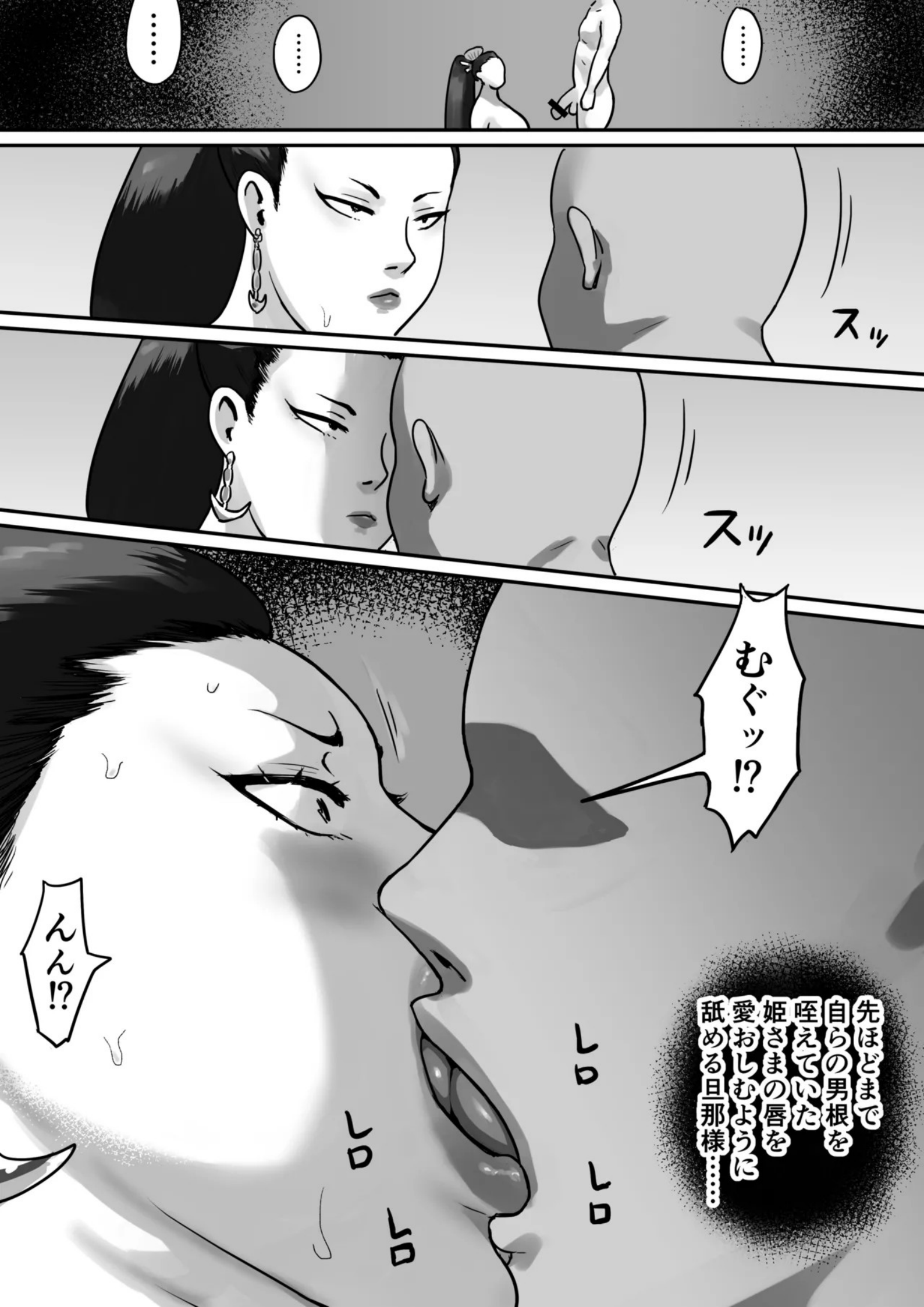
ニんっ

その様子だ
まだ出るだろう

では今度こそ
わらわの胎奥に
子種を出せ

……気は
済んだか？

ハッ…



...

...

...

スッ

スッ

むぐッ!?

んん!?

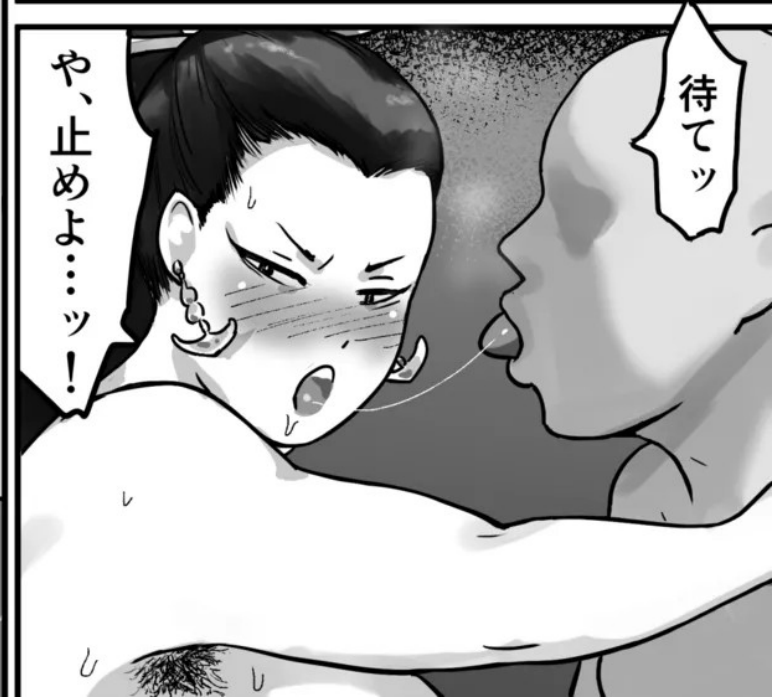
先ほどまで
自らの男根を
啜っていた
姫さまの唇を
愛おしむように
舐める旦那様……

ッ

ッ

ッ

ッ





旦那様は
うれしいので
ございます

チュッ♡

チュー!♡

姫さま

……ッ

ん…

りチュ

りチュ

んッ



姫さまと
これから
激しくまぐわっ
ことが……

うれしくて
たまらないので
ございます



姫さま……
股を開いて
くださいませ

んッ

んッ

……!?



姫さまも
興奮して
らっしゃるの
ですか?

はあ……
愛おしく
可愛らしい
お耳……

淫らな匂いが
いたします
……

んん……ッ
んッ!

んッ……

ぢゅー
ゆるゆるゆる



んッ

フチャ

ふぐッ

チユッ
チユッ

んふッ

チユ

んッ

チユ

フチャ

姫さまの肉

二チ

二チ

二チ

二チ

熟して
蒸れて
そして
かぐわし



イツあッ

ゲキョ

ゲキョ

旦那様を
迎え入れるため……

セクニッ

ゲキョ

ゲキョ

セクニッ

あああッ

あああああッ

こんなにも
熱く……



はあッ

はあッ

はあッ

はあッ

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

グキョ

グキョ

グキョ



いっ...

ん...
ん...
ん...

ん...
ん...
ん...

ん...
ん...
ん...

はあっ……!

はあっ……!

はあっ……!

はあっ……!

わたしは確信した……
夜が深まるほどに……

姫さまは
雌となる……

To Be Continued...

110
7





はッ
やめ...ッ

はッ
はッ

クチ
クチ
クチ

あッ

あッ



姫さま
旦那様に腕を回し
抱きついてください

何だと!

玲ッそなたは
余計な事をするなッ



ハアハア...
なんじゃ...

なにを笑うておるッ
他人が漏らすところを
見て愉快かこの外道!

ふざけるなッ
それではまことの
夫婦のようではないか

まことの夫婦で
ございます

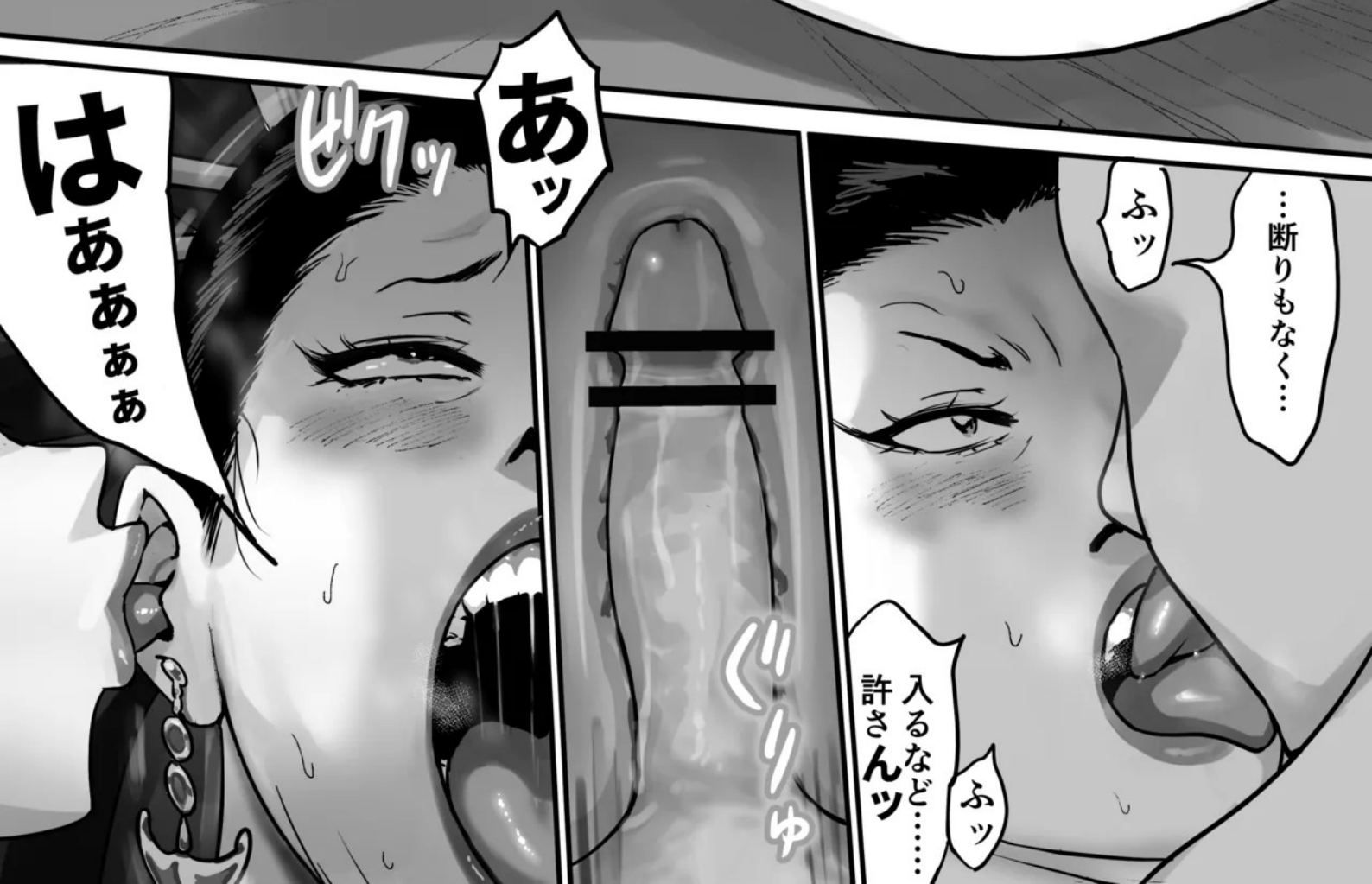
ぬぷらうらうら

ぐちゅ

ぐちゅ

貴様…

勝手に……





確認して
まいりますッ

奥を…はああ…
奥ををお…ッ

しっかりと旦那様を
受け入れましたか？

奥…ッ
奥に…ッ



はッ

はッ

まるで
愛の架け橋の
ように姫さまと
つながって……

……
旦那様の太い男根が



ああ

素晴らしい
眺め……





玲!
止めよ!

わらわの命が
聞けぬかッ!

!?



姫さま、旦那様を
受け入れて
くださいまし……



あ
あ
あ
ん



ぐ
ら
っ
ゅ

わらわを何だと……



「締まりがいい」
……だとう!
貴様、



姫さまの
大きなお尻の中へ
入りたい……

べ
ち

に
ち
る

べ
ち



姫さま…指を
差し入れて
よろしいですか？



旦那様を
受け入れなさい…

姫さま…



あッ

はッ

姫さま……
旦那様を
抱き寄せて
くちづけを……

断るッ

旦那様に……

断るッ

はッ

はッ

こんなに熱く
濡れているのに
聞き分けのない……

断る

姫さま！

断るッ

ぬす

ぬす



おおッ

おッ

おおッ

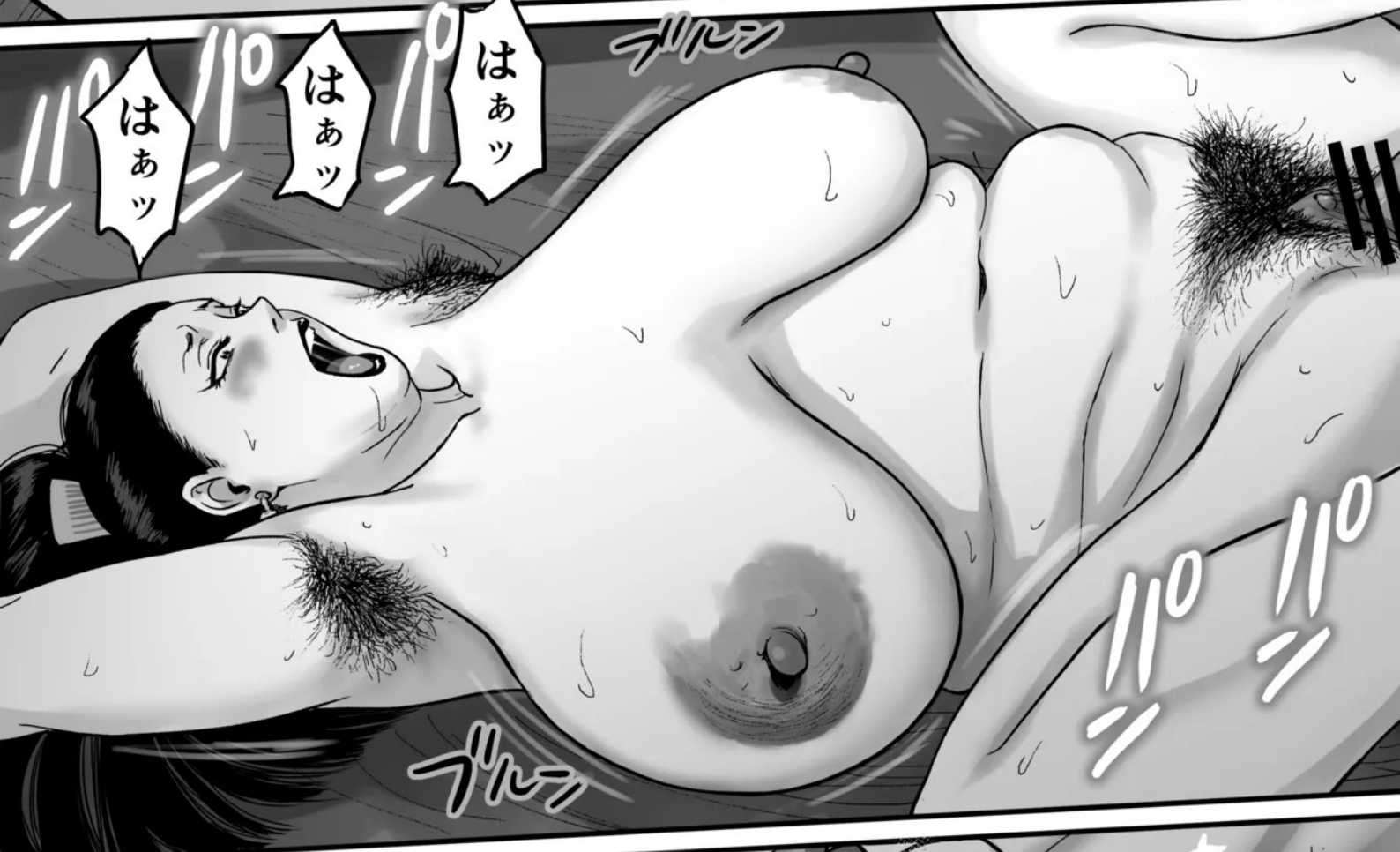
ほら……
旦那様を……

お
お
お
ッ

姫のき……

ごりゅ

ごりゅ



はあッ

はあッ

はあッ

ごりゅ

ごりゅ

ごりゅ



あッ

あッ

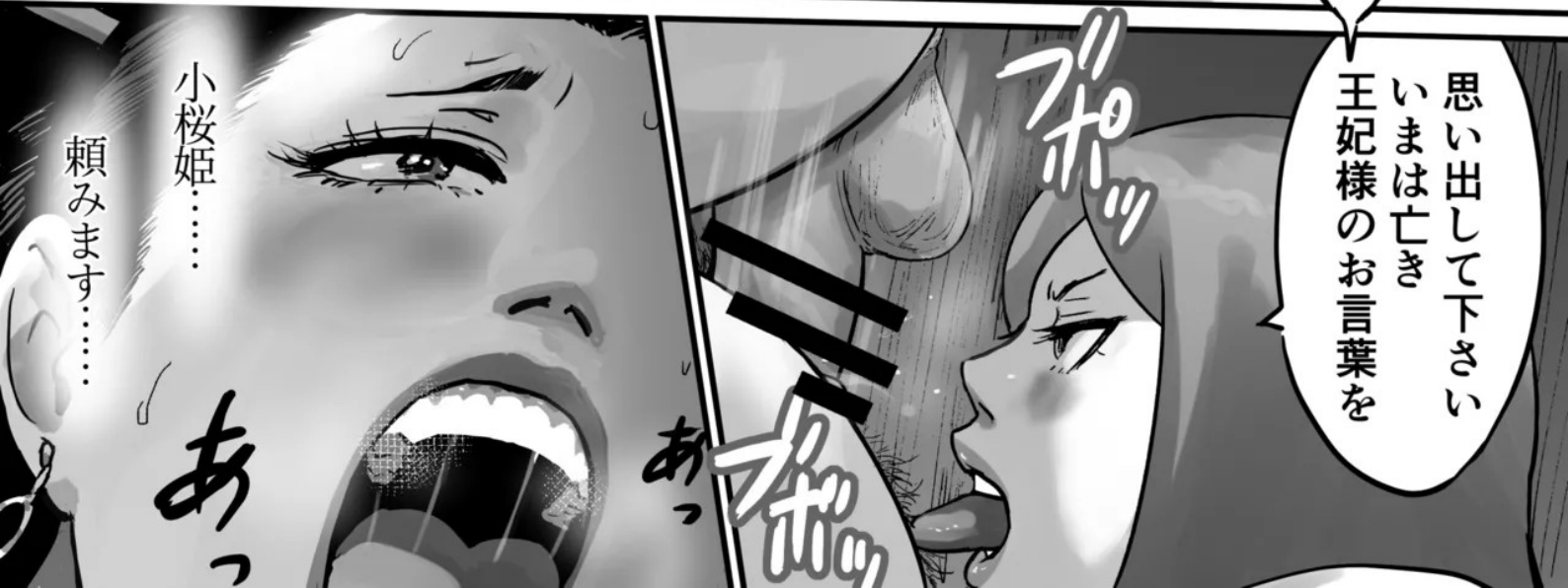
あッ



あゝあゝ
あゝあゝ
あゝあゝ

あゝはゝ

姫ごま……



小桜姫……

頼みます……

あゝ

あゝ
フッ
フッ

思い出して下さい
いまは亡き
王妃様のお言葉を

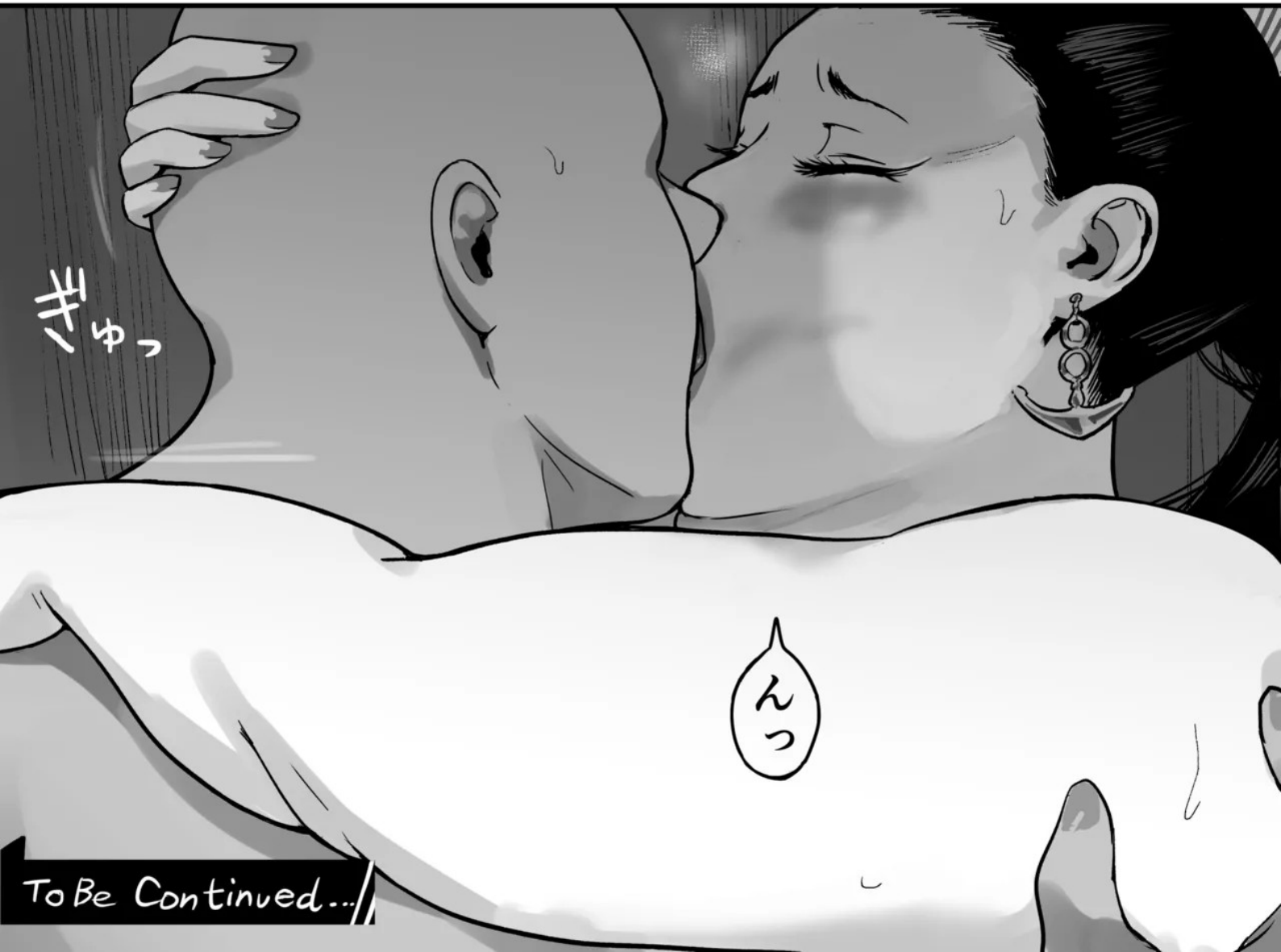
この国の未来を……



お抱きなさい



ブル
ブル..



ゅっ

んっ

To Be Continued...



……？なんじゃ……
この男を
抱きしめた途端……

胎の奥から
快樂が押し寄せて
……

ドッ

ドッ



おッ
ようやく俺の顔を
まっすぐ見たな

うっ……



ぼやー！

な、なぜじゃ……
こんな男ごとき……

！



俺の姫さま……♡

むっちゅ

な……ッ



オラッ
出るぞ姫ッ

もつと
まんこ締めろッ

だ、だまれッ……
あうッ♥あッ♥

キュウ

あッ♥

アッ
アッ
アッ
アッ
アッ



よっしゃ締めまる
いいぞ姫

もつと
まんこで俺の
チンポを吸えッ

命令……する……なあ……

あッ♥

あッ♥

あッ♥

アッ
アッ
アッ
アッ
アッ

なぜじゃ…
腰が勝手にい…

この男のイチモツを
欲しがるように腰を
振ってしまうう…

いいだろ？
姫？

もっとまんこで
しゃぶっていいぞ

んんう…

じっくり
俺のチンポを味わえ

くツ…何を…
ん…ツ…

オラ
出すぞ

ん…ツ…く…

ゲイ
ゲイ

ああッ♥

ねろ
ねろ

ああッ♥

うッ
ぐううう……ッ♥

ほと
陰唇があ……
めくれるうッ♥

ニチカ

ニチカ

イクッ♥

んん
いいか?♥

イッて
いいぞ姫♥

イクッ♥

奥う……♥
つぶれるうう♥

あッ♥

チユ♥

ほと
ほら姫出るぞ……♥
ちんぽ
陰茎膨らんでる……

イッ

いいイイ……ッ♥

あッ♥

キュン♥

キュン♥



俺の子
産めよ…姫……

あッ

イクッ

せりり
びりり

ポッ!



あー出るッ

おんおん

うん……♡

お

♡

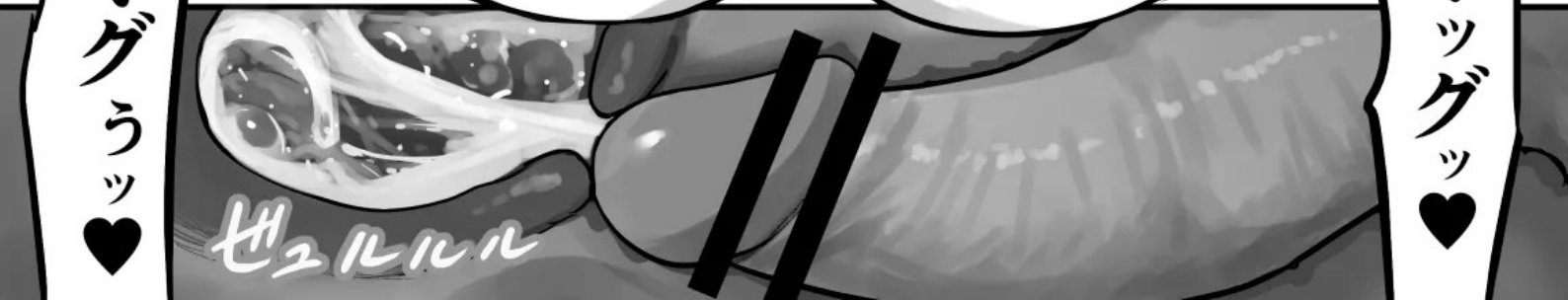
ほッ♡

ドクン

ドクン

ドクン

キョウ



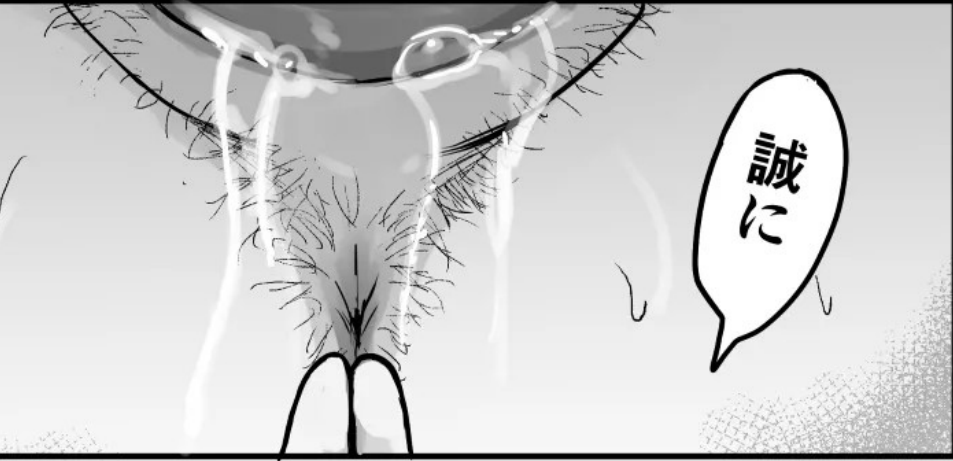
イッグッ♡

イグッ♡

せゅるる



おめでとういじごこます♡



誠に



旦那様との初夜...



ぬ

ぶ

ぎい♡



んッ

うおッ

ぬぽん

わッ

おい玲：勝手にケツの穴いじるなよ 姫がびっくりするだろ

申し訳ありません 旦那様

もみもみ

大丈夫か姫？ オッパイ揉んでやるからな……

貴様……止め……あッ

胸揉むだけでイキそうだな… 玲：ケツの穴行っとけ

はいッ 旦那様

あッ

だめッ

はう

イッぐッ

ほっ

ほっ

ほっ

あッ

あッ

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

ぬっ……♡

おほほッ♡

おッ♡

おほッ♡

セクッ

セクッ

セクッ

よし
いったいった
可愛いぞ姫

お
...
ッ♡

玲子種を
こぼさない
ようにな……

はいっ
旦那様♡

セクッ

ほじ

ほじ

To Be Continued...

翌朝——
姫さまの私室

昨夜は
お疲れさまで
ございました
姫さま

むに

まったくくじゃ

もみ

あの男の
好色絶倫ぶり
：呆れて
物も言えん

もみ

もう少し
お尻を
持ち上げて
ください
姫さま

でも旦那様とは
相性が良いようで
安心いたしました

クイッ

馬鹿を申せ

わらわは
耐え忍んで
おっただけじゃ

あら：
私の見当違い
でしょうか？
姫さま



失礼いたしました
姫さまはてっきり
絶頂を繰り返して
いたものばかり♡

あんな
獣のような
交わりで
何が絶頂か

お尻を
失礼いたします
姫さま

んッ

これは
どうでしょう
姫さま

気持ちよく
愛撫できて
いますでしょうか

あッ…

ハッ
ハッ
良い…

深く
揉みほぐし
ますね♡
姫さま

では

んもも

んもも

んもも

姫さまが
旦那様に
心を開きに
なられること

玲は
願っております

あッ…

そんな
必要な
無い…

くちゅ
くちゅ

あ…ッ

ビクッ

是非ともふたりが
愛し合うところを
見とろごさいます

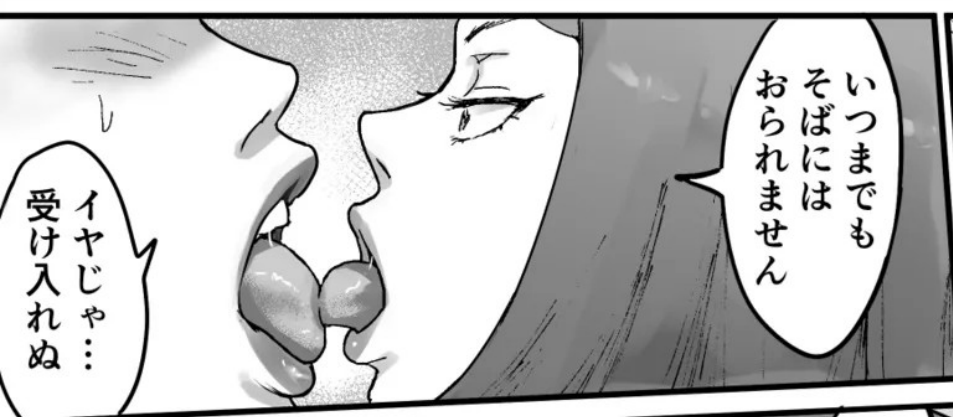
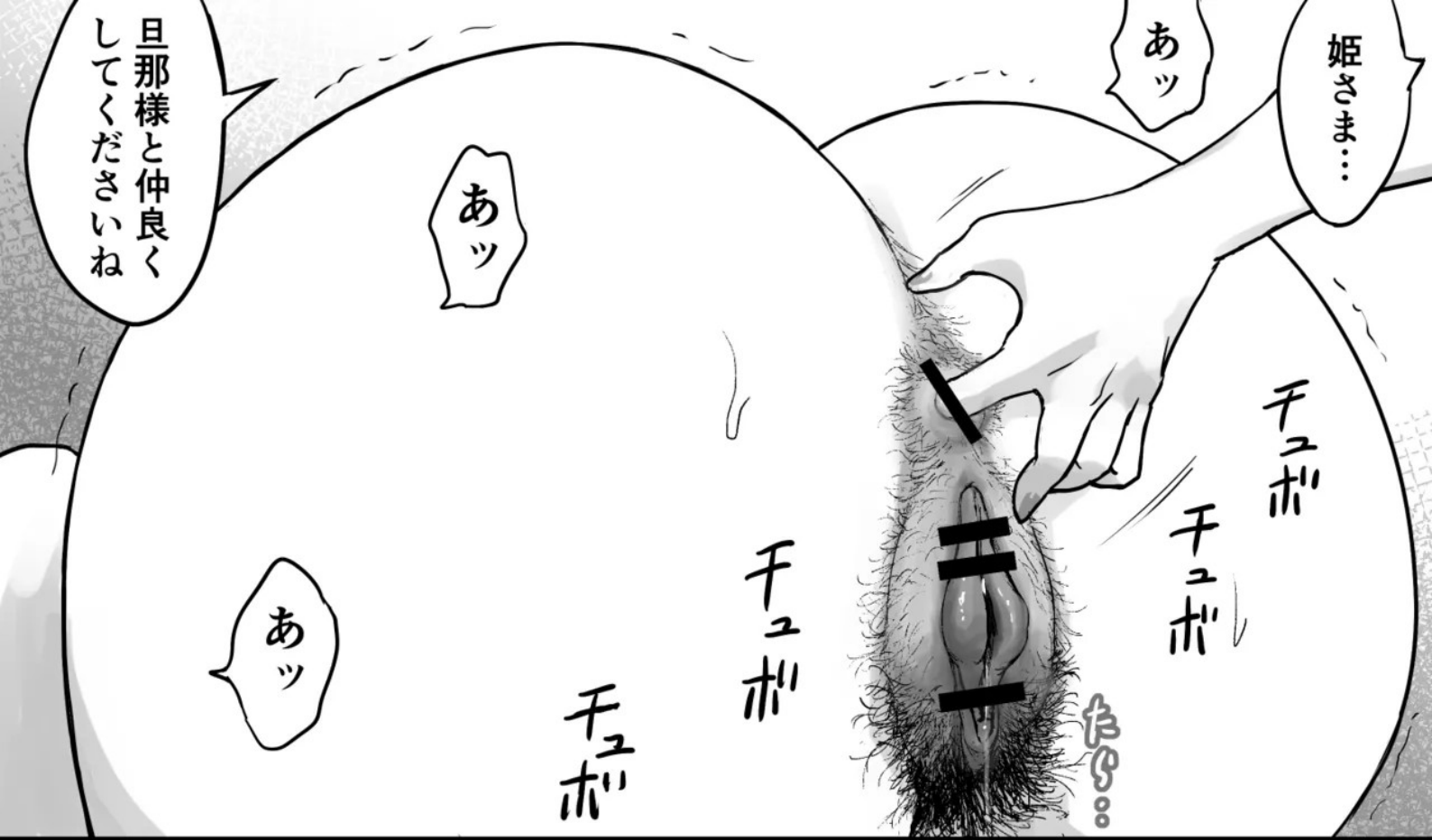
ほおお…

ブルブルッ

くちゅよ

くちゅよ







姫はま…
気持ち良いです…

わらわもひゃ

あッ

旦那様

妻の私室に
ずかずかと…
無粋な男め

いいね

朝っぱらから
楽しんでるじゃん

ゆづ

うむう

はッ

は

は

良いッ

ゆづ

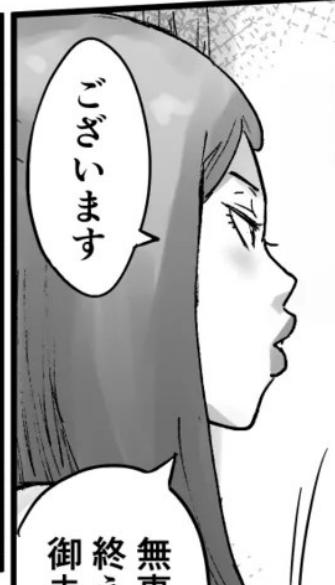
ゆぢぢ

ゆぢぢ

はッ

おおッ





現・王妃様への
契りの儀事済みの
ご報告です——

現・王妃
美瑠香
ビルカ

To Be Continued...//

昨夜の
夫婦の営みを

(金玉を揉みながら)
王妃へ報告
(古代からの掟)

かああ！

もみ
もみ

亭主のデカマラが
余程気に入ったと
見えるな…姫？

ふふん
熱心に
揉んでおるの…

もみ
もみ



睦まじいことよ…
朝からサカカッてる

姫は
一晩中
私の肉棒に
むしゃぶれ
ついて
れり
ました

んっち、ちが…

れろ

はああ…

れろ

その通りです
王妃れるる…

馬鹿な…き、
気に入ってなど…

クイ



ケダモノ
獣のように
交尾して
みせよ

良い良い
では許可
してやろう

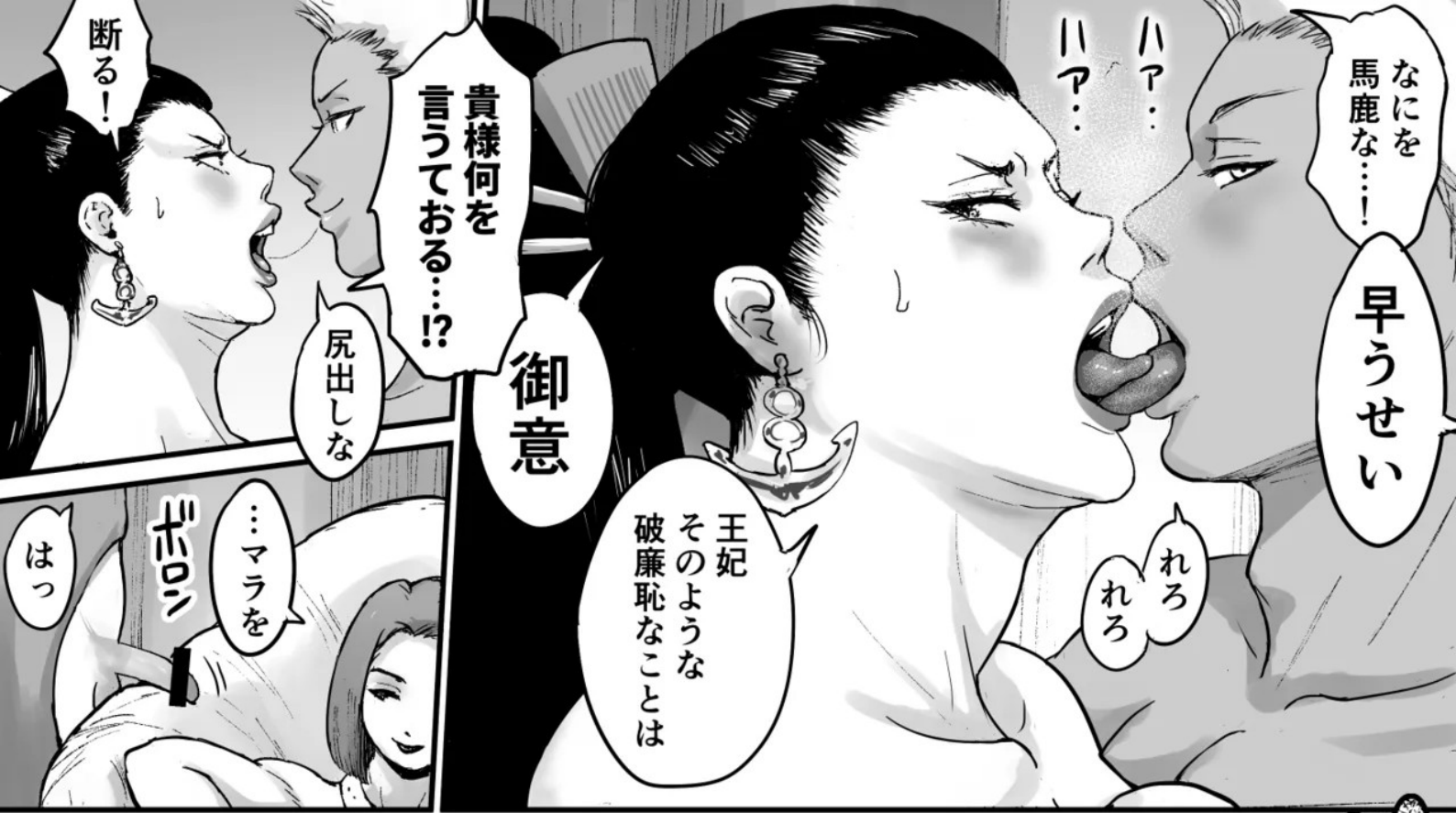
今すぐ

ここで

なっ!?

へちや

へちや



なにを馬鹿な...!
早うせい

ハア...
ハア...

御意

貴様何を言っておる...!?

断る!

尻出しな

王妃
そのような
破廉恥なことは

れろ
れろ



ママを

はっ



あっ

あっ

あっ

ふふ
良い格好では
ないか

白ブタ姫

ぬちが

ブルシ

やめっ

あっ

あっ

あっ

くっ

ハッハッ

あの
小生意気な白豚を…ぐぼっ

ブポ

あっ

ま、待て
王妃の御前で
このような…

あっ

あっ

あっ

いい
いい

いいか？
かっ

面白い

はっ

ぐちゅ

見届けてやる

ブポ

今宵は
余の閨で
子種を
付けさせる

ブポ

はっ

ブポ

王妃…
もう我慢が…

ならぬ

全く良く
寝けておる
ではないか

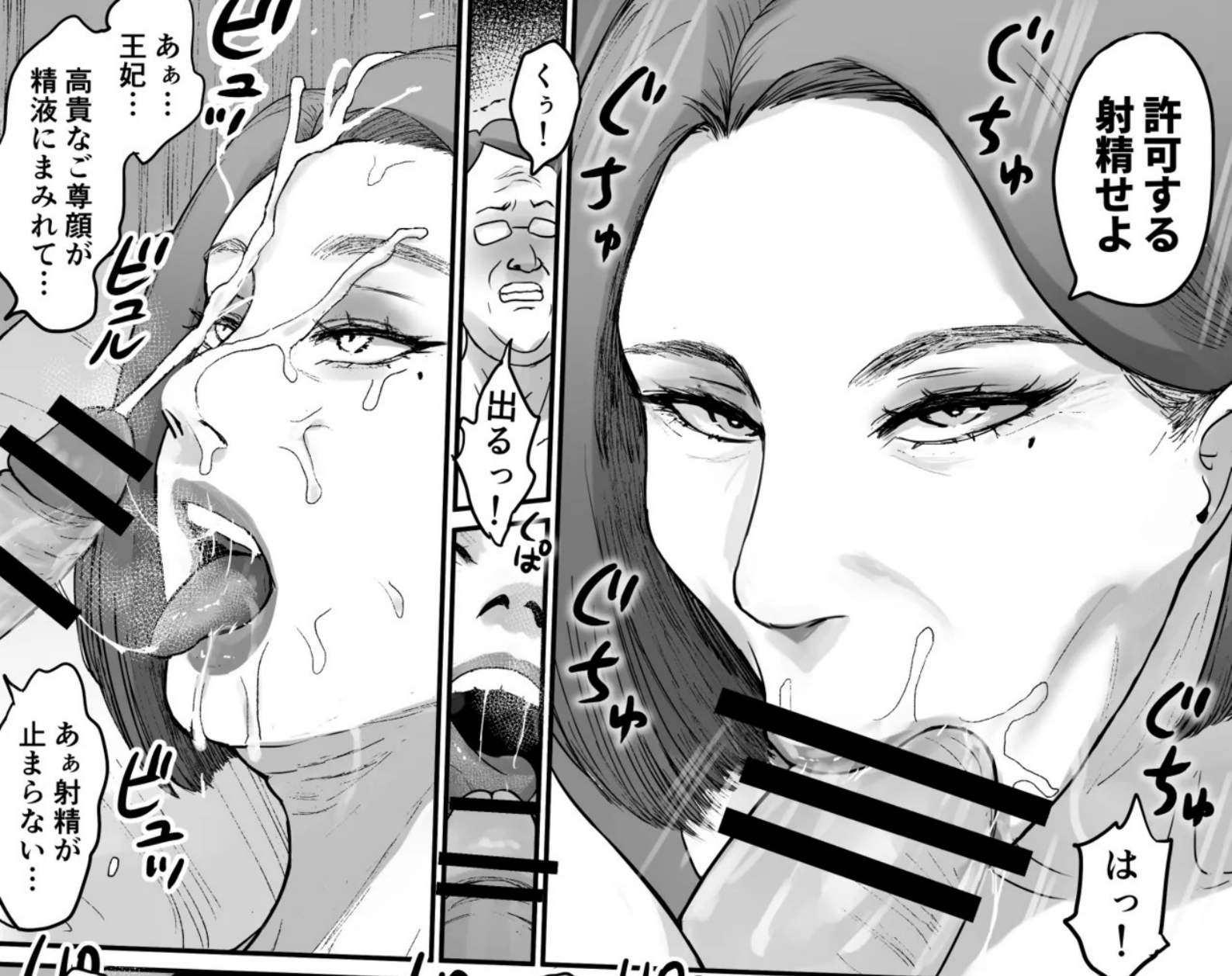
ぬぼっ

へちや

へちや







許可する
射精せよ

ああ…
王妃…
高貴なご尊顔が
精液にまみれて…

くう!
出るっ!
おっ

ああ射精が
止まらない…

はっ!



俺たちも
イこうぜ姫
ま、待て
イキそうに
なってんだろ?

イクだろ?
あっ
イかない
のか?
どっちだ!?

いッ…
イクッ
どろん

どろん

ぐちゃっ
ぐちゃっ



ぐちよぐちよに
なってるぞ
姫っ!

あッ

あッ

あッ

いやッ

あー出そう
中に出す?
出さない?

だ、出すっ
ううん

欲しいか?
欲しいっ

欲しいっ
いいっ

あッ

あッ

あッ

ぬ
す

ぬ
す

ぬ
す

ぬ
す

あッ

おら
みんな
見てるぞ
姫!

いやっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

まんこ
締まってんぞ
興奮してん
のか？

い、
言うなっ

あっ

ふん
もはや
恥とも
思わぬか…

おら
もっと締めろっ

ど、ど、どやって…
あっ

あっ

あっ

どやんどやん

わからぬっ
あっ

あっ

ケツの穴
締めたり開いたり
腹に力入れろっ

うっ

うう…
こうか？

びるん

ギョウ

ごっちよ

ぐっちよ

ごっちよ

いいぞ

そのまま
クソをもらせ

ば、バカなこと…

んおっ

あっ

あっ
♥

ぶるん

びるん

たまらぬ…

イクか？

イク…





おごっ
んごっ

おおおお...
王妃...
そのような
テクニクク...

また
出てしまいます...



止めよ

やかましい
豚の交尾を



キッ

おおッ

たまらぬっ

せつないの
じゃっ
そこが
せつないのじゃ



あっ
あっ

そこじゃ
そこっ

ほら
ここだろ？

ここが
いいんだろ？



…王妃
お言葉ですが

夫婦の交わりを
そのような形で

口答えをするな
バカ者めが

『服従』の姿勢！

…

おぬしの旦那は
夜まで
余が預かる

せいぜい
身悶えして
待つがいい

白豚姫



小便くさい
まんこを
可愛くいじって
準備しておけ

おぼこが

王妃
ラストスパートの
早舐めクンニを
始めます

ぬちゃ。

やれ



おう
いぞ

びび

びび

びび

びび

びび

びび

びび

びび

びび

びび

Thick black horizontal lines representing a hand or fingers.



ほれ

ブルル

ポツポツ

|||||

↑↑



拭け

はいっ!

To Be Continued...

夜

王妃
プライベート
私宅庭園

王妃
小桜姫がまもなく
到着のご様子



お主の股間も
涼しかろう

ムコ殿

夜風が
心地よいな

おぬしも
ようやく
楽になれるぞ

ふッ

ザッ

ビク

良い良い

めかし込んで来たな……

赤子プレイとやらを楽しんでそうだな

今朝がた余に顔を見せる前に

ムコ殿から聞いたが

覚えておりましたぬ

そう不貞腐れるな

どうせもっと恥ずかしい真似をする事になるのだ

玲



よく
仕上がって
おろうが

どうだ



むち♡

むち♡

ヒリッ

ヒリッ

ムコ殿も
始めは
抵抗した
がな…

あかねが
性技を尽くし
徹底的に教育した

あかね
(ふたなりくノ二)



アレが…
さらに大きく…

ちなみに

まだ射精は
させておらん

出すなら
姫の胎の中…
そうムコ殿に
懇願されてな

どうだ？

世ダニ

世ダニ

興奮してきたで
あろう？

見せてみる
赤子プレイとやらを

ハア：

ハア：

……あ

こ…
これはあくまで
演技です…

…すんすん

お…
おキンタマに
精液溜まって
まちゅね♡

ほら

ん♡

ママが…

しゅ…

すぐに楽に
してあげまぢゅ
からねえ♡

ボクちゃんの
好きなおっぱい
でちゅよ♡

ぷる

ああ：
ママとっても
気持ちいいわ…

いっぱい吸って
いっぱい
白いミルク
出ちまちょうね…

あん上手よ
ママ感じちゃう

本当に良い子♡
シヨシヨシヨ…

チュ

チュッ

チュッ

ニムニム

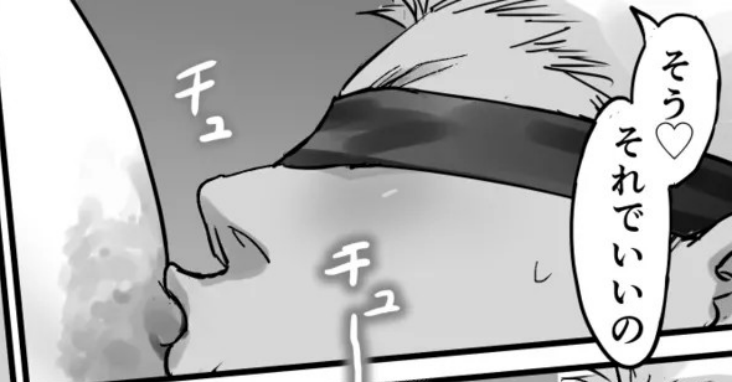
ニムニム



わらわ…
ママ気持ち良くなっちゃう…♡

ああ上手…
いいわよ…

両方の
乳首を丁寧に…
そう…良い子ね

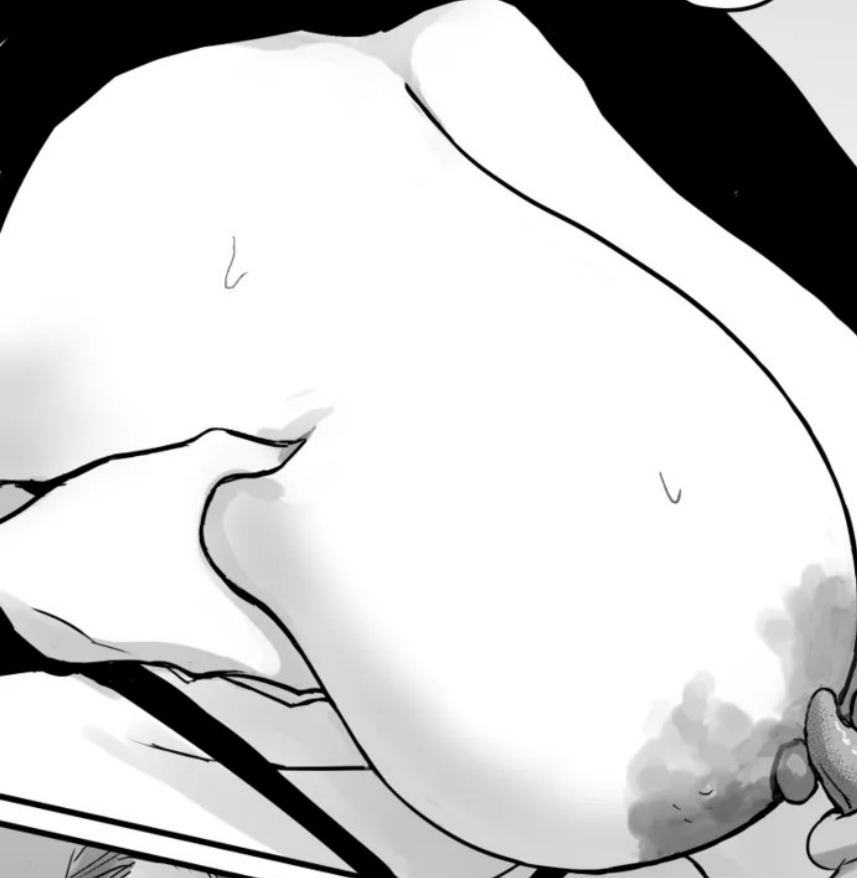


そう♡
それでいいの



ママ♡
ダブルおっぱい

ぺちゅ



ママ♡
おっぱい2個
おいちい



あり
ダメダメ!
ママ濡れちゃう

あッ

あッ
コラッ
また…

ママの乳首
いじめないで

あんッ
悪い子!

ダメ…
あッ…
んっ…



はみッ



竿は
そろってある



ちよびでいじら



あの娘が
いじらまで...

なるほど...

心から
夫婦に
なったのだな



…御意

ママー
おっほい
ビニタして

チ、チンポ
当てゲーム？
なんだそれは！？

考えろ！
さもなくば
王妃の思う壺だ！



よし

姫

チンポ当て
ゲームを
するぞ

※注意！

ここから先
男がケツを掘られる描写
が出てきます。
苦手な人は回れ右です！

描きたかったんや



おまけ

おっほ

メス調教
される旦那様

おっ

まほ

おっほ
まほ

うる

スリ
スリ

おっほ

ヤッベ

イグ

あああ
あああ

ぬーや
ぬーや
ぬーや

おっほ

うる

ぬーや
ぬーや

がり

来る来る
スゴイへ来る

がり

スリ
スリ
スリ

おっほ
まほ

ぬーや
ぬーや



そちは
どう思う？



ふッ



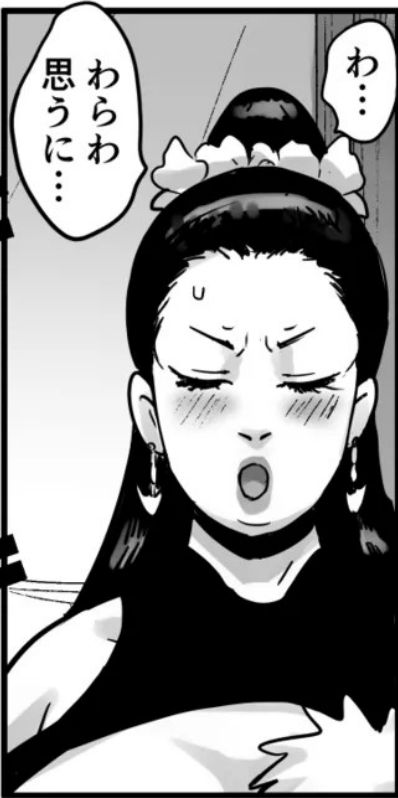
チ…

チンポ当て
ゲーム…

とは…？

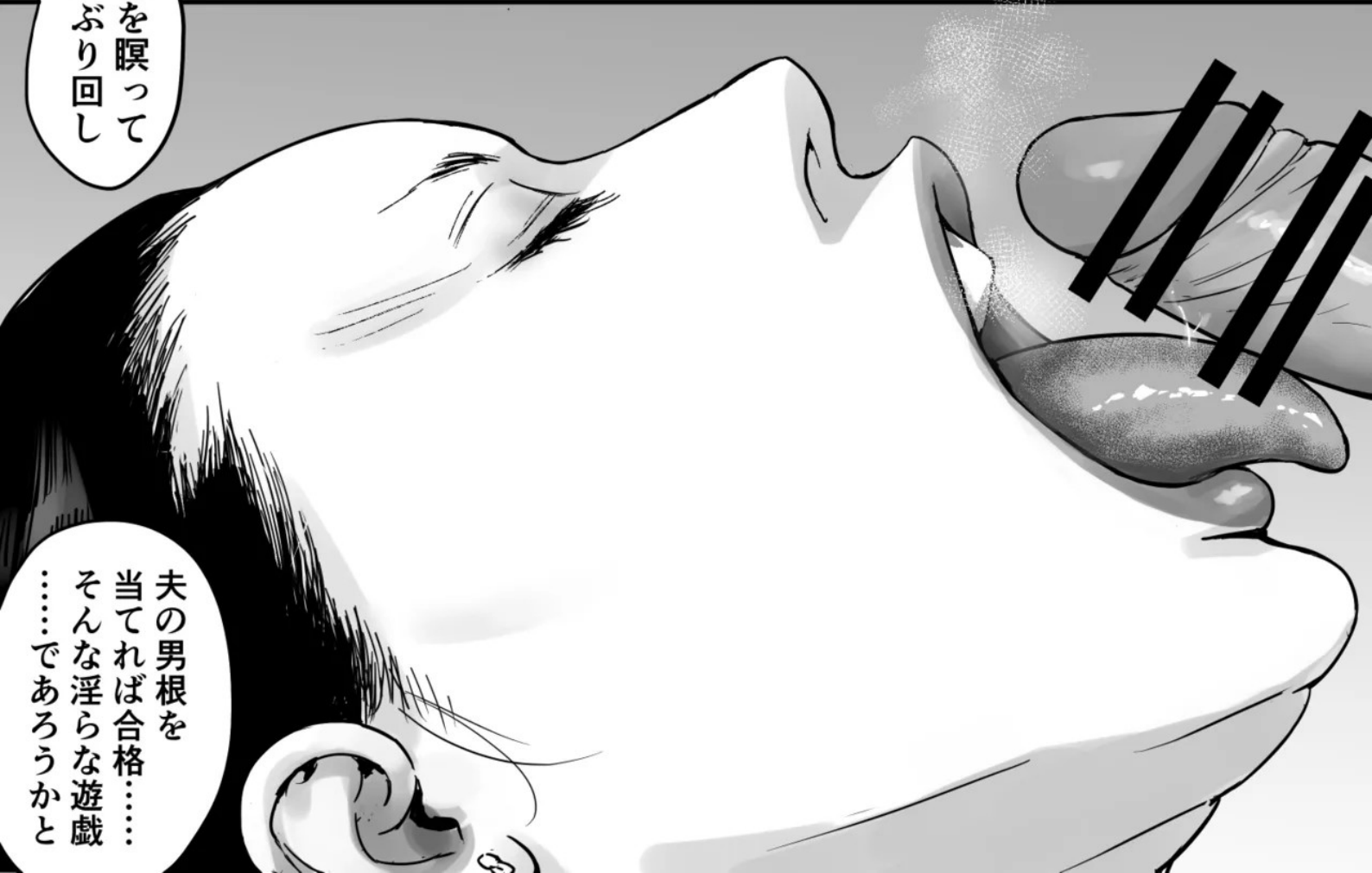


3本の
勃起男根を
目を瞑って
ねぶり回し



わらわ
思うに…

わ…



夫の男根を
当てれば合格…
そんな淫らな遊戯
…であろうかと

ババア

惜しい…

汚い男根を
近づけるな!!



くさいゆり!

少し違う…

正解はこれだ

豚

がた

壁から
尻だけを出し
尻の穴でマラを
しゃぶり当てる

王妃!

この壁か?
昼から急遽
作らせた

王妃!
そうではなく!

がた

これは
紛うことなき
侮辱です!

はは馬鹿を言え
これはまさに
祝福よ

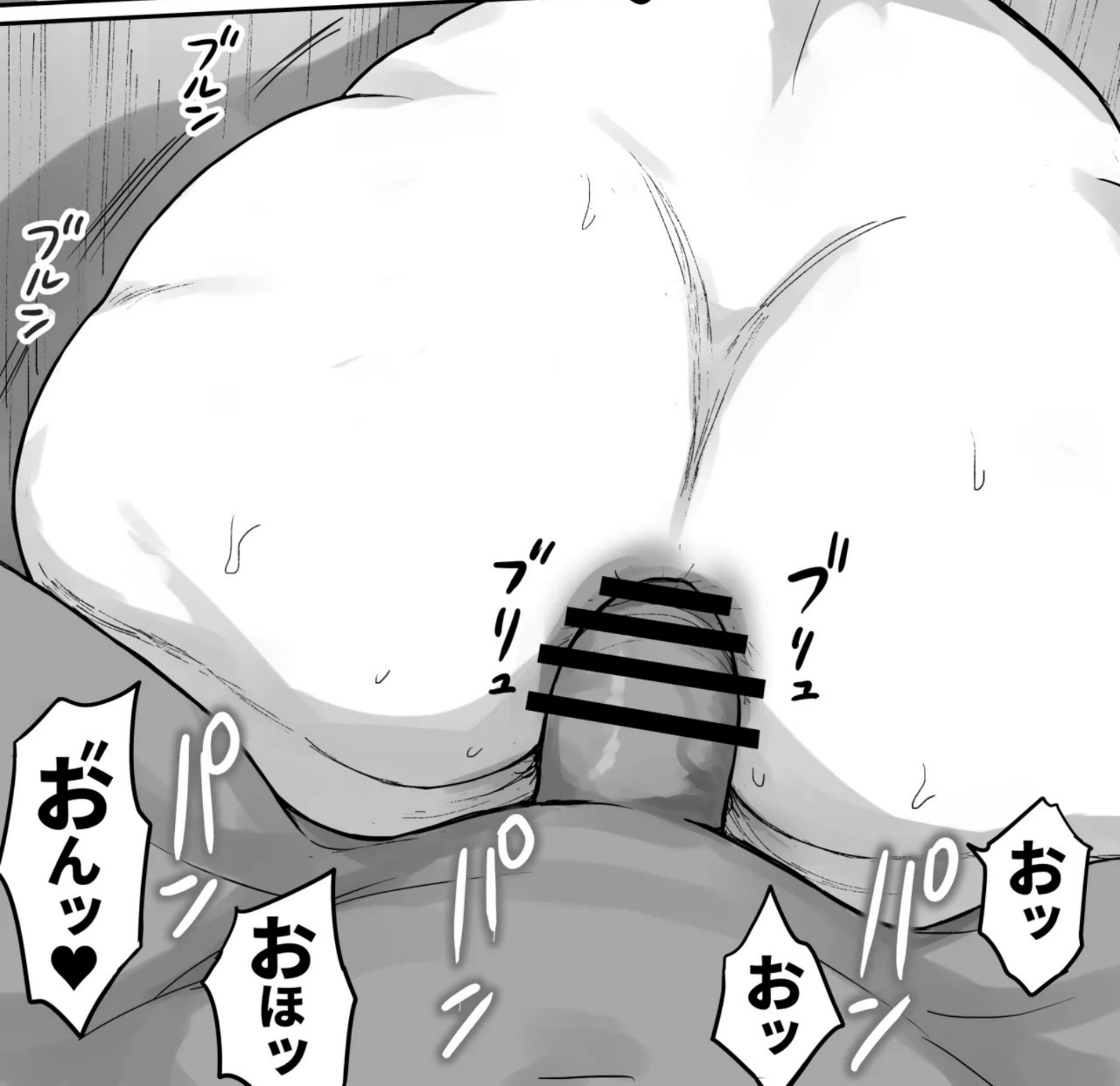
王妃!

さてまずは
誰の男根で
あろうかの?

王妃!

無料

まんこ



おほッ♡

おッ♡

ほおおッ♡

菊門ッ♡
剥けるッ♡

キクッ♡

キクッ♡

キクウウッ♡

ケツの穴キクッ♡

気持ち
良さそうなの
小桜姫

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ぷるん

ぷるん

ぷるん

ぷるん

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

おほッ♡

おほッ♡

ハッ♡

ハッ♡

おおおおお♡

おおおおお♡

どのように
良い？

太っとい
ウンコがあああ♡

おおおおお♡

うほおおお♡

良うううう♡

良いのか姫？

びたん

びたん

10

太グソがああ
出てるうう
みたい♡

ニヤ(ニ)

ニヤ(ニ)





おっほっ♡

おっほお♡

ほおおお♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

相性が
良さそうでは
ないか姫

どうだ?

誰のマラか
当ててみよ

にゅご

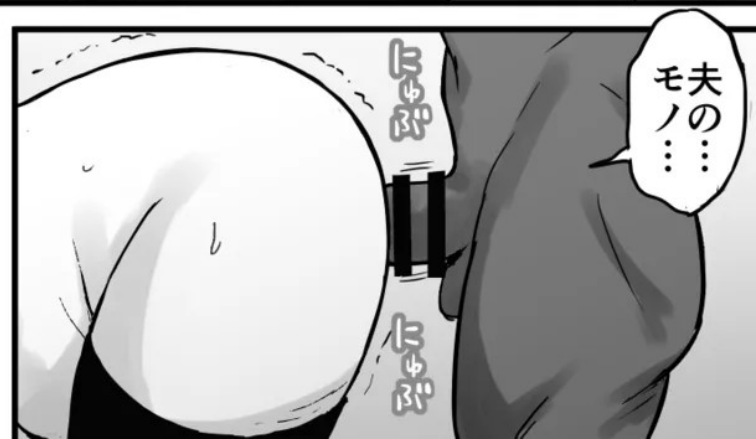
にゅご



では...

ない...

ほう



夫の...
モノ...

にゅご
にゅご

なぜ旦那の
マラではないと
判断する？

にゅご

にゅご

あっ♡

はっ♡

答えよ

わ…

あんっ♡

我が夫は…

尻の穴で
する時…

必ず菊門に
くちづけを
する…

んっ♡

し…

よって…

わらわに
いま
挿入されて
いる男根は…

我が夫の
男根では…

ない…ッ

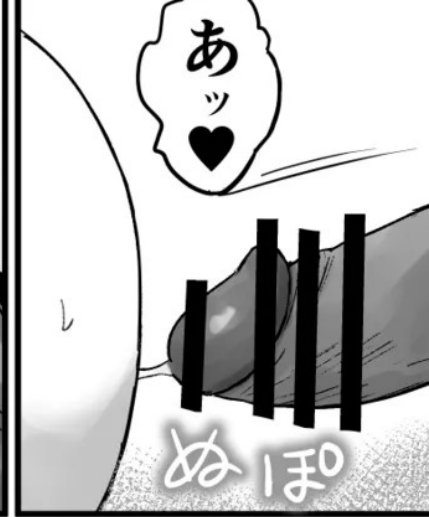
ふむ…



はっ
り



チュッ



あッ♡

ぬぽ



そちの負けだ
夫のマラは
余が今から
存分に
喰らうと
しよう



馬のペニス
ぐらい太いのおお♡

これやっぱり
夫のチンポおお♡

これえええ♡
この太いのお♡

ブルン

いゃぽ

いゃぽ

おちんぽおお
すいっ♡

すいっ♡

あッ♡

あッ♡



しまったーッ

To Be Continued...



こちらはリクエスト作品です。

姫さまがもし旦那様と結婚してなかったらどのような子作りになったか？
というテーマで描かせていただきました。

どこぞの家柄だけは良い男と子作りをする姫さまでございます。

This is a requested piece. It was drawn based on the theme of
"What kind of man would the princess have been with
if she hadn't married her husband?"

She's a princess who, despite not marrying her husband,
would still produce offspring with a strong and healthy man.

ちゅ
こ



ちゅ
こ

ひ、姫様…
このたびは
わたくしとの
交合を認めて
くださり…

すみやかに
始めよ

…はッ

あ…ああ…
ひ、姫様の…御胎に
わたくしの愚息が…

お…
おおう…
姫…様…

す、素晴らしい
肉壺でございます…

姫様の…肉ヒダが
わたくしの男を…
やさしく…ふうう
母のように包んで…

ちゅこ

ちゅこ

だまれ

は、ははあッ!

姫様 ああ!

以前より
お慕い申して
おりましたああ!!!

プルン

心より... はッ!

はッ!

はッ!

愛おしく
思うて
おりますう!!!

プルン

姫様の
おまんこおお!!!
姫様の
おまんこおお!!!

嬉しいッ

嬉しいッ

孕めええッ

くちゅ

くちゅ

ニニニ

はああ…
お美しい…
何という
美しさかつ!!!

あああ…
くそ…
もう出る…

いやだああ
出したくないい…

あッ
あッ
出るッ出るッ
ミミミミミミ

フュホ
フュホ
フュホ
フュホ



はあ...はあ...
ひ、姫様...

その粗末なものを
抜きなさい

はッ

ぬぽっ

子種を
吐いたなら
立ち去る
ように

それと
姫さまの前に
二度と
現れないこと

破れば
処刑です

は、ははあッ!

つぽん♡

ゴ

ぽオ。。

ハア

ハア

